

18章 比較2

問題

【1】

A.

全訳

現代の生活では、神経の疲労から逃れるのはたいへん難しいことである。職場と家との往復に費やされる時間でさえ、都市の労働者は騒音にさらされている。意識的に騒音を聞かない方法を身につけても、それでもやはり騒音のために疲れ切ってしまうのである。

B.

全訳

最後には死ななければならないと知っていても、たいていの人の場合、そのために現在生きているという喜びが減るわけではない。やがてはしほむ運命を持った花や、あまりにもはかなく過ぎて行く春を眺めるからこそ、詩人にとっては世の中がより一層美しく見えるのである。5月の美しさも、これを眺めている間にさえも美しさが失われていくことを知っていればこそ、ますます深く詩人の心を動かすのである。だからといって生者必滅の思いによって詩人が喜びを覚えるというわけではなく、その喜びをいつまでも自分の物にしておくことができないということを知っているからなお一層、それを強く抱くということなのである。

C.

全訳

読書の精神に対する関係は、食物の肉体に対する関係と同じである。従って、読書なしで済まそうとしても、とうていできないことなのである。一方、人の頭が吸収できないほどに読もうとすると、いとも簡単に読書意欲を失うこともある。それゆえに、人の精神はその肉体と同様、傷つきやすいものだということを忘れてはいけない。

D.

解答

- (1) If it is simply stated
- (2) ① by ② with
- (3) 「全訳」の下線部②、③参照。

解説

(1)

Simply stated は分詞構文である。まず条件を表す接続詞 if を補い、主語には、「漠然とした状況」を表す it が入る。また、prevent から現在時制であることがわかる。したがって、If it is simply stated となる。

(2)

① guns は owned and carried (①) law-abiding citizens によって修飾されている。owned, carried はいずれも他動詞の過去分詞形であり、「受身」を表している。つまり、

law-abiding citizens が動作主を表すことになる。

- ① states (①) the largest increases in gun ownership
X Y

「Yを伴うX」あるいは「Yが起こっているX」を表す前置詞を入れればよい。

(3)

②◇ award-winning criminologist と Gray Kleck は同格。

◇ that firearms are used for protection against criminals as many as 2.5 million times every year は、調査研究によって明らかになった内容。

◇ for 「～のために」《目的》

◇ protection against ～ 「～からの保護；～から身を守ること」

◇ as many as : 「数が多い」ことを表す。

◇ 2.5 million times 「250 万回」

③◇ significantly 「有意義なことに；有意義なことであるが」《文修飾の副詞》

◇ it is ～ that の強調構文であり、high crime, urban areas, and neighborhoods with large minority populations experience the greatest reductions in violent crime when ～ の主部を強調したものと考えればよい。主部の構造は、次のようになる。

{ high crime, urban areas
and
neighborhoods with large minority populations

high crime, urban areas の high crime は形容詞として機能し、urban areas を修飾している。

◇ with 「～がある；～を持った」

◇ allow + O + to do 「O が～するのを許可する」

全訳

簡単に言うと、法律を遵守する市民が銃を保持すれば、犯罪を防ぐことになる。②受賞経験のある犯罪学者で、フロリダ州立大学のグレイ・クレックの調査研究によると、犯罪者から身を守るために毎年 250 万回も銃器が使用されている。この数値は、1 年間に発生する銃を用いた暴力犯罪の推定数の 3 倍から 5 倍である。シカゴ大学のジョン・R・ロット教授は、銃所有が最も大幅に増加した州では、暴力犯罪もまた最も大幅に減少していることを示した。③有意義なことであるが、法を守る市民が銃所持を許可された場合、暴力犯罪が最も減少するのは、犯罪率の高い都市部と少数民族が多く住む地域である。

[2]

解答

(1) 「全訳」の下線部①参照。

(2) 「全訳」の下線部②参照。

(3) 「全訳」の下線部③参照。

(4) 「全訳」の下線部④参照。

(5) 食べ物についての不安を抱えている点

(6) b

解説

- (1) ◇ when told = when I was told
◇ thin 「痩せた」
◇ make me eat more 「私にもっと食べさせる」
○ make は使役動詞。
- (2) ◇ eating anything left me full of guilt
○ eating anything 「少しでも食べること」がこの文の主語。
○ leave ~ … 「~を…の状態にする」
○ guilt 「罪悪感；やましさ」
- (3) ◇ The longer ~, the prouder …
○ ‘The + 比較級, the + 比較級’の構文は、「~すればするほどますます…」という意味になる。
Ex. The more we have, the more we want.
(多く持てば持つほどますます欲しくなる。)
◇ go without ~ ≡ do without ~ 「~なしで済ます」
◇ the prouder I became of ~
○ be proud of ~ 「~を誇りに思う」
◇ self-discipline = the ability to control one’s habits and actions
- (4) ◇ I am not quite sure …
○ 否定語の後の quite は、断定を避けたり、発言の内容を弱める働きをする。ここは I don’t exactly know …と言ってもほぼ同じ意味になる。
- (5) 下線部の直前の that は同格を表す。摂食障害があった頃の不安について検討する。
- (6) ◇ deliberately = intentionally 「わざと；故意に」
◇ head for ~ = go to ~; move toward ~

全訳

当時、私は決して、自分に摂食障害があると認めようとはしなかった。体重が25%も減っていたにもかかわらず、自分は痩せていると思えしなかった。①私は、みんなから、とても痩せて見えると言われると、みんなが私にもっと食べさせようとして嘘をついているのだと思っていた。5年後、自分がいかに運が良かったかがわかった。深刻なほど体重を減らしたのは半年だけで、その後、私は入院が検討されることもなく、再び食べ始めるようになった。

私は、寄宿学校時代に体重を減らし始めた。試験の後に家に帰るころには、もはやダイエットをやめることができなくなっていた。何回かパーティーで好きな男の子に会ったが、その後連絡が来ることはなかったので、本来の自分と自分の魅力について疑い始めた。私は痛々しいほど痩せていたけれど、もっと痩せていれば、彼らはたぶん、もっと私のことを好きになってくれただろう、と思った。だから、私は、脂肪分や糖分が多い食べ物を絶つところから、だんだん食べる量を減らし、②少しでも食べるととても罪の意識を感じるようになってしまった。また、私に食べさせて自制心を曲げさせようとする人はだれでも嫌いになり始めた。

父が働いているアメリカに行くと、私は急速に悪化した。食べ物、というか、食べ物をどうやって避けるかが、私が唯一考えられたことだった。③食べずにいられる時間が長ければ長いほど、ますます自分の自制心に誇りを持った。自分自身に快楽を与えないために、私はチョコレートをお口のそばに近づけ、食べないでいた。自分は誘惑に耐えられるのだということを実証するためである。

④なぜ自分がダイエットをやめたのかよくわからない。しかし、大きな理由は、ただ、自分がかつてそうであった、幸せで比較的のんきな人間に戻りたいという気持ちがあったことだ。私は、自分が生んだこの憂鬱な気分から抜け出さなければならないと悟ったので、自分自身にまた食べることを許すことにした。

当然ながら、すぐに回復したわけではない。食べ物についての不安が少なくともさらに1年間続いた。チョコレートは3年間食べなかったが、いまは、他のたいていの女の子と同じで食べ物のことを気にしていないし、たぶん体重については、他の女の子ほど気にしていない。私のもう1つの面がまだどこかに隠れていて、再び現れて食事を制限するかもしれないというかすかな不安はあるが、もし自分が故意に食べ物を拒んだり、食べないことに喜びを感じたりしているとわかったら、まっすぐにチョコレート屋さんに向かうのである。

注

- ℓ. 1 ◇ I would never admit that … 「…ということを決して認めようとはしなかった」
 - would は「過去の強い意志」を表している。
 - Ex. He *would not* take the money. (彼はお金を受け取ろうとしなかった。)
 - She *would* take it for the worse. (彼女は悪いほうへと取りたがった。)
 - ◇ eating disorder 「摂食障害」
- ℓ. 2 ◇ slim 「痩せた；ほっそりした」
 - 肯定的なニュアンス。
 - ◇ despite ～ 「～にもかかわらず」
 - これは前置詞なので、「～」の部分には名詞または名詞句がくる。
 - ◇ having lost 25% of my body weight 「体重の25%を失ってしまった」
 - 完了形になっているのは、主節の動詞 didn't even think よりも時間的に前に起きたことだからである。
- ℓ. 3 ◇ realize = understand and believe 「悟る；理解する」
- ℓ. 4 ◇ :
 - この記号は colon と呼ばれ、その前の内容を受けて、より詳しく述べたり、要約するときなどに用いられる。「つまり；すなわち」などと訳せることが多い。
 - ◇ after being seriously underweight …
 - 接続詞が付いた分詞構文。節に直せば, after I was seriously underweight …となる。
 - seriously cf. serious = not (to be) easily or lightly dealt with; not slight 「深刻な」
 - underweight 「痩せすぎている」
 - ◇ I chose to start eating again
 - 単に I started …ではなく, I *chose to start* …となっている点に注意。「自分の意志で」というニュアンスが出ている。

- ℓ. 5 ◇ hospitalization *cf.* hospitalize = put (a person) into a hospital
- ℓ. 6 ◇ boarding school 「全寮制の学校；寄宿学校」
◇ By the time S + V 「～までには；～する頃には」
- ℓ. 7 ◇ diet 「ダイエットをする」
◇ several：3以上だが，manyよりは少ない。
- ℓ. 8 ◇ contact = get in touch with 「連絡を取る」
◇ afterwards = after that：アメリカ英語では afterward
◇ attractiveness *cf.* attractive 「魅力的な」
○ 人について用いられるときは，主に外見的な魅力を言う。
◇ Painfully thin though I was 「痛々しいほど痩せていたけれども」
○ 普通に言えば，Though I was painfully thin だが，強調のために補語が前に出て，倒置構文になっている。これは文語。
- ℓ. 9 ◇ they would have liked me more if I were thinner
○ 仮定法だが，条件節 (if …) と帰結節 (they would …) の時制がずれていることに注意。
- ℓ. 10 ◇ go from ~ to … 「～ (という段階) から，… (という段階) へエスカレートする」
◇ eliminate = remove completely
◇ less and less ⇔ more and more
- ℓ. 12 ◇ self-control = control over one's feelings 「自制 (心)」
- ℓ. 13 ◇ rapidly = very quickly
- ℓ. 14 ◇ avoid = keep away from
- ℓ. 15 ◇ deny A B 「A に B を与えない」
- ℓ. 16 ◇ next to ~ 「～のすぐ近くに」
- ℓ. 17 ◇ though 「(文尾または挿入的に用いて) だが；でも」
○ however も同じ使い方ができる。
- ℓ. 19 ◇ get oneself out of ~ 「～から抜け出す」
◇ cause = make something (bad) happen
◇ let ~ … 「～に…させる」
○ make のような「無理にさせる」という強制の意味はなく，「本人が望めばさせるという」消極的な使役を表す。
- ℓ. 21 ◇ inevitably 「必然的に；不可避的に；当然のことながら」
- ℓ. 22 ◇ further = more
◇ no more … than ~ 「…でないのは～でないのと同じ」
Ex. She is *no more* able to speak French *than* I am.
(彼女は私と同じで，フランス語を話せません。)
- ℓ. 23 ◇ concerned = worried; anxious

[3]

解答

- (1) a (2) b (3) b (4) c
(5) 5 (6) d (7) d

Script

CD 3

- M : What on earth are you doing, Sue? Why are you staring at your thumb?
- W : I'm not staring at my thumb. I'm conducting an experiment. I'm testing how I use the different sides of my brain.
- M : Really? I hadn't realized that you used either.
- 5 W : Give me a break, George. I'm trying to figure out whether I'm "right-brained" or "left-brained."
- M : What's that supposed to mean?
- W : The brain is divided into left and right halves, or hemispheres. They have a tendency to specialize in different functions, that is, each side tends to control different activities. But not everyone is the same.
- 10 M : Does that mean that if the right side of your brain is stronger, you'll be right-handed?
- W : No. It's the left side of your brain that controls the right side of your body. Most people are right-handed because the left side of the brain seems to be better suited for the fine movements needed for doing things like writing, drawing, and playing music.
- 15 M : How does the experiment work?
- W : Want to try it?
- M : All right.
- W : OK, first stand up straight.
- M : Now what?
- 20 W : Keeping both eyes open, hold up your right thumb with your arm held out straight in front of you. Position your thumb so that it's under an object on the opposite side of the room.

M : All right. I'll use the alarm clock.

W : Now, one at a time, first close your left eye and then the right, and see if your
25 thumb appears to jump to the right or the left in relation to the clock. [pause]
What happened?

M : It seemed to jump to the right when I closed my right eye, but it didn't move when
I closed my left eye. What does that mean?

W : It means that like 54 percent of the population you are right-eyed. Your right eye
30 is contributing more to your visual perception than your left, so closing your left
eye doesn't change your perspective, but closing the right one does.

M : Then the other 46 percent must be left-eyed. That doesn't seem like such a big
difference.

W : Actually only about 5 percent are left-eyed. The rest are not strongly right or left-
35 eyed, so their thumbs don't seem to move much no matter which eye they close.
You want to try another test?

M : What do I do?

W : It's simple. First you have to find out how long you can balance a broom on your
left index finger while standing on your left foot. Use a clock with a second hand
40 to time yourself. Then find out how long you can balance it on your right index
finger while standing on your right foot. Next memorize a short paragraph from a
magazine or newspaper. It doesn't matter what it's about. Once you've got it
memorized, repeat the balancing test while reciting the paragraph. The hand most
affected by reciting the paragraph shows which side of your brain your speech
45 abilities are centered in.

M : The opposite side, right?

W : Right.

[488 words]

- 男：スー、いったい何をしてるの？ どうして親指をじっと見てるの？
- 女：親指を見てるんじゃないわよ。実験をしてるの。自分が脳の両側をどう使っているのかテストしているのよ。
- 男：本当？ どっちも使ってないと思ってたけど。
- 女：いいかげんにしてよ、ジョージ。私は「右脳型」か「左脳型」かを調べようとしてるの。
- 男：それ、どういう意味？
- 女：脳は左半分と右半分、つまり左脳と右脳に分かれているの。左と右が異なる役割をする傾向があるのよ。つまり、それぞれが違った行動をコントロールする傾向があるの。でも、だれもが同じわけじゃないけど。
- 男：それって、脳の右側が（左側）より強ければ、右利きになるってということ？
- 女：いいえ、体の右側をコントロールしているのは脳の左側よ。ほとんどの人が右利きなものは、脳の左側のほうが、文字や絵を描いたり楽器を弾いたりするような細かい動きに適しているからなの。
- 男：その実験はどのような仕組みなの？
- 女：やってみたい？
- 男：うん。
- 女：じゃあ、まずまっすぐ立って。
- 男：それから？
- 女：両目を開けて、腕を体の前にまっすぐ伸ばした状態で、右手の親指を立てて。部屋の向こう側にあるものの下に親指が来るようにして。
- 男：わかった。目覚まし時計を使うよ。
- 女：じゃあ、片方ずつね、まず左目を閉じて、それから右目を閉じて、親指が時計に対して右に動くか左に動くか見て。どうなった？
- 男：右目をつぶると、右に動いたみたいだよ。でも、左目をつぶっても動かなかった。それってどういう意味？
- 女：それは、54%の人と同じように、あなたは右目が効き目ってということよ。あなたの右目は左目より、物を見ることに役立っているの。だから、左目を閉じても見え方は変わらないけど、右目を閉じると変わるの。
- 男：それじゃあ、あとの46%はきっと左目が効き目なんだね。数にあまり差はないみたいだね。
- 女：実は、左目が効き目の人は約5%だけなのよ。残りの人は、はっきりとした右利きでも左利きでもないの。だから、どちらの目を閉じても、指はあまり動かないと思うわ。もう一つテストをやってみる？
- 男：どうするの？
- 女：簡単よ。左足で立って、左手の人差し指の上にどれくらい長くほうきを載せていられるか調べるのよ。その時間を計るために、秒針のある時計を使って。それから、右足で立って、右手の人差し指の上にどれくらい長くほうきを載せていられるかを見るの。次に、雑誌か新聞の記事から短い段落を暗記して。どんな内容でも構わないわ。暗記

をしたら、その段落を暗唱しながら、もう一度、さっきのほうきを載せるテストをやってみて。どちらの手が段落の暗唱で大きな影響を受けたかで、あなたの言語能力の中心が脳のどちら側にあるかがわかるの。

男：反対側だね？

女：そのとおりよ。

【4】

解答・解説

- (1) 私たちは 2000 円しか払わなかった。
○ no more than ~ = only ~
- (2) 私たちが払ったのは多くても 2000 円だ。
○ not more than ~ = at most ~
- (3) 私たちは 2000 円も支払った。
○ no less than ~ = as much [many] as ~
- (4) 私たちは少なくとも 2000 円を支払った。
○ not less than ~ = at least ~
- (5) 日本人は中国人と同様に、アジア的ではありません。
○ A is no more B than C is. 「CがBでないのと同様に、AはBでない。」
- (6) 日本人は、中国人ほどアジア的ではありません。
○ A is not more B than C is. 「AはCほどBではない。」
- (7) 日本人は、中国人と同様にアジア的です。
○ A is no less B than C is. 「CがBであるのと同様に、AもBである。」
- (8) 日本人は、中国人以上にアジア的です。
○ A is not less B than C is. 「CがBであるのに勝るとも劣らず、AはBである。」
- (9) 犬がしっぽを振るのは、飼い主に対する愛情というよりむしろ、エサが欲しいからだ。
○ not so much A as B 「AというよりむしろB」
- (10) 知れば知るほど、信じられなくなる。[知識が深まるにつれ、懐疑心も生まれる。]
○ The + 比較級 + S' V, the + 比較級 + S V. 「S' V' であればあるほどますます S V」

【5】

解答・解説

- (1) **b** 「この大学構内の書店は遅くとも午前 11 時には開くでしょう。」
○ at the latest 「遅くとも」 ⇔ at the earliest 「最も早くて」
- (2) **d** 「その患者は薬を飲んだためにさらに悪くなった。」
○ all the + 比較級 + because S V [for + 名詞] 「S V [名詞] なのですから～」
○ the + 比較級で 「その分だけますます～」 という意味になる。
- (3) **c** 「私の教授は古今稀なほど優れた科学者だと言われています。」
He is such a rich man that he can buy anything. = He is so rich a man that he can buy anything. と同じように、as は比較の副詞のため、as a great painter とはならず、

as great a painter という語順となる。

○ as ~ as ever lived 「かつてないほど〜だ；これまでの誰にも負けないほど〜だ」

(4) c 「彼女がその知らせを聞いた時、彼女は怒ったというよりむしろ狼狽した。」

○ not so much A as B 「AというよりむしろB」

(5) c 「彼は冒険へと出発したが、その冒険は、異国への偏見を失えば失うほどますますすばらしくなっていった。」

意味から考えて、「偏見を失えば失うほどますますすばらしくなっていく」とすべきなので、d は不可。

(6) a 「ニューヨーク暮らしの10年で、トーマスは12回も暴力犯罪の被害者になった。」

○ no less than ~ = as many as ~ 「〜も」

(7) b 「日光は、新鮮な空気と同様に、健康には必要なものだ。」

○ A is no less B than C is. 「CがBであるのと同様にAもBである。」

(8) a 「その行動は15秒しかかからなかったが、その束の間のあいだに麻痺は彼を着実に蝕んでいった。」

in that brief moment とあるから、no more than = only を選ぶ。

○ numbness 「無感覚；かじかみ」

○ afflict 「〜を苦しめる」

(9) c 「確かに彼の計画は一考の価値があるけれど、私たちの計画も同じくらい重要であることを忘れないでください。」

as important (as his plan is) と読む。

(10) c 「こんな天気では、私は魚釣りに行くよりむしろ家にいたいです。」

prefer A to B (BよりAが好き) という構文で、AとBがto不定詞の場合には、prefer to do rather than to do の形にするのが普通。

【6】

解答・解説

(1) today when → today than when

「今日、父は、先月あなたにメールを書いた時よりもはるかによくなっている。」

先月『より』としなければ意味が通じない。

(2) latest → last

「ジョンは正直で率直な人です。彼は絶対に自分の義務を怠らない人です。」

直訳は「自分の義務を怠るであろう最後の人」となる。

(3) which を取る。

「私の一人息子が大学入試に合格すること以上に私を喜ばせることはないだろう。」

which を削って that 節にするのがポイント。

(4) warm → warmer

「一般的に言って、ある場所が暖かくなればなるほど、それだけ多くの種類の動植物を育むことになる。」

The + 比較級 + S' V, the + 比較級 + S V. の構文である。

(5) than → for

「誤りのない人はいない。だからその誤りがあってもそれでも変わらず夫を愛さなければなりません。」

○ none the less for + 名詞 [because S V] 「～であってもそれでもやはり…だ」

(6) was を取る。

「学べば学ぶほど無知もよくわかると言われるのをよく耳にする。」

時制から考えても was はおかしいと気づけるはずである。

(7) all the nervous → all the more nervous

「そのとき、自分を映す鏡が目の前になかったので、なおさら一層不安になった。」

○ all the + 比較級 + because S V 「S V のためなおさらいっそう～だ」

(8) it を取る。

「くつろいでください。つねられている程度の痛みしかないですよ。」

than (you would feel) if you were being pinched と考える。

(9) no dangerous → no more dangerous

「遺伝子を利己的に操作すること以上に危険な実験はないとその教授は主張した。」

than に対応する比較級がないことに注目する。またこの英文はクジラの公式 (A is no more B than C is. (C 同様 A は B でない)) ではないことにも注意。

(10) than を取る。

「私は集中している時、周囲の人たちのことは全く気にならない。」

I couldn't care less. (全く気にしません) の表現に注意。

cf. You couldn't care less. (全然注意してないね。)

I could not love you any better. (これ以上愛せないほど好きです。)

今日の一言

Actions speak louder than words. 「言葉より行動の方が雄弁だ。」

勉強を進めていくと、「～先生はこの参考書を勧めていた」とか「～君はこの授業を取れって言っていた」などいろいろな情報が入ってくることだろう。しかし何より大切なのは、参考書を買うことでも授業を取ることもなく、参考書を読んだり授業を受けたりしながら「自分で考える」という行動を起こすことである。

受身の姿勢で授業を受けるのではなく、自ら率先して取り組んでいこう。

添削課題

全訳

①人ごみの中，人を探して歩きまわるのは，人を探し出す最もまずいやり方であることはよく知られている。じっと座っていれば，探している人がそばを通るといのはよくあることなのだ。鳥や獣の場合には，人の場合よりもはるかに確実に，このことがあてはまる。連中は必ず戻ってくる。1年もあればその間にたぶんすべての生き物がある特定の場所を——ただし，ある特定の場所のみとどまらないすべての生き物という意味においてであるが——通過することだろう。森ややぶに住むすべての動物が，12か月の間に，たった1つの農場をゆうゆうと通過する。たった1本の木に——とりわけ古い木に——およそその期間木にとまる鳥のうちの5分の4は訪れる。どの年も，なにかしら目新しい鳥がやって来て，新しくやって来た鳥がリストに加わるのだ。②旅の範囲を広げたところで，より多くの種類を見ることはないだろうなどということは信じがたいことではあるが，実際のところ，1つの場所を調べるのが長ければ長いほどその分だけ多くのものがそこから見つかるということ，経験ははっきりと示しているのである。

解説

①◇ To walk about in search of person in a crowd (不定詞の名詞用法)

○ about = here and there; on all sides; not far away

○ in search of = searching for

※ of がくる点に注意。

cf. in quest of ~ ≡ in pursuit of ~ (~を追求して)

○ crowd = in a large number of people gathered together

◇ recover = get back; regain

○ 「無くしたものを見つける」という意味から，ここでは「探し出す」という意味で用いられている。

Ex. If you recover my wallet, please contact me at my hotel.

(もし私の財布が見つかったらホテルに連絡して下さい。)

◇ them = persons

②◇ It is difficult

to believe

that

one would not see more

< by extending the journey >

but

< in fact, >

experience proves

that

the longer a single locality is studied

the more is found in it.

○ would : 仮定法。条件は by extending the journey

- (even) by extending the journey
- extending = make longer or larger
- ◇ in fact = ① 《文修飾語》「実際は；事実上は」強調したり，本当はどうか尋ねるときに用いる。
 - ② 《つなぎ語》「ところが実際は，実際のところ」直前の発言と異なる意見やそれを否定するような事柄を述べる。
 - ③ 《つなぎ語》〔前言を強調して〕「いやむしろ；それどころか」
- Ex. ① He is the president of the company in fact, but not in name.
(彼は事実上は，その会社の社長だが名目上はそうではない。)
- ② Everyone thinks he is a nice person, but in fact I don't trust him.
(彼はいい人だと思われているけれども，実際のところ，私は信用していない。)
- ③ He wasn't very helpful. In fact, all this resulted from his carelessness.
(彼は決して助けにならなかった。それどころか，こうしたことはすべて彼の不注意からおこったのだ。)
- ◇ prove = show by evidence or argument that (something) is true or exists.
- ◇ the + 比較級～, the + 比較級…「～すればするほど，その分だけ…」
- the は副詞。
- more : この more は「名詞」
- ◇ it = a single locality